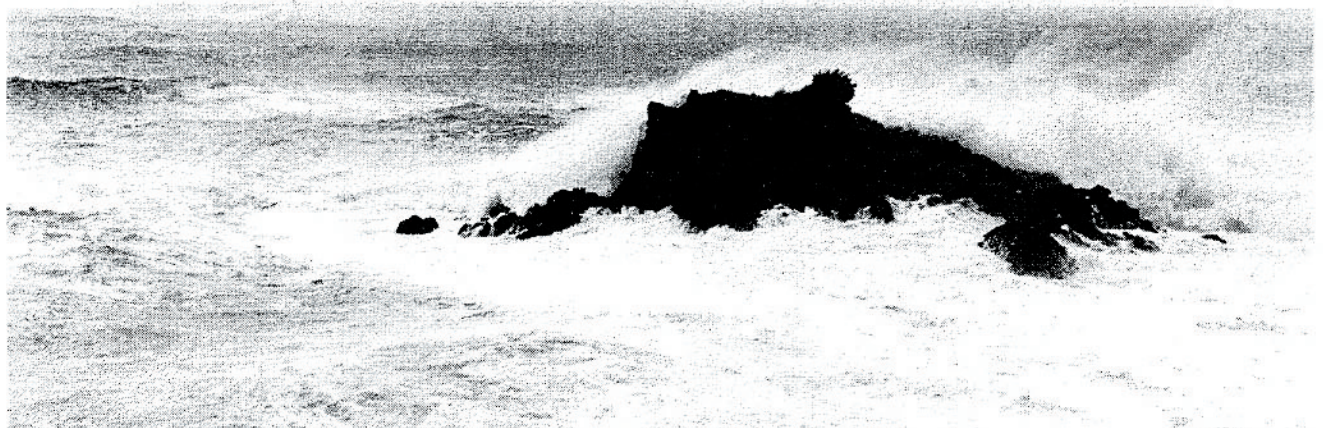


3.11 ひらま写真館イベント

# 平間 至 写真展 「光景」



2014. 3/8 sat. ~ 11 tue. 11:00 ~ 18:00 ひらま写真館 宮城県塩竈市尾島町 18-14

3.11 ひらま写真館イベント

# 平間 至 写真展 「光景」

震災の起きた翌年の3月11日から、ひらま写真館の中で「写真と人間」をテーマにトークを重ねてきましたが、今年は写真の展示を行うことにしました。

写真館での展示は、今まで何度も考えました。しかし創業した平間甲子、二代目新の思い、そして無数の堆積した写真のことを考えると自分の写真のみ込まれそうで、実現には至りませんでした。

震災から3年経た今、鎮魂の意味を込め展示をします。

ひらま写真館という特別な場をもって写真は何を語るのだろうか？  
皆さんと一緒に耳を傾けてみたいと思います。

平間 至

日時：2014年3月8日(土)～11日(火)  
11:00～18:00 入場無料

会場：ひらま写真館  
宮城県塩竈市尾島町 18-14  
JR 仙石線木塩釜駅より徒歩約3分

主催：塩竈フォトフェスティバル実行委員会  
<http://sgma.jp>

〈お問い合わせ〉  
[shiogamaphoto@gmail.com](mailto:shiogamaphoto@gmail.com)  
TEL. 080-4005-8587 (フォトスライク)



#### 【3.11 ひらま写真館 イベントについて】

2011年3月11日の東日本大震災の直後、自衛隊員による懸命な救出作業が行われる中、写真と位牌だけが拾われ、流された家の土台の上に置かれていました。この時点では、作業がマニュアル化されていた訳ではなく、隊員の皆さんは自然にそうしたのです。

写真は人にとってそれぐらい重たいものではないでしょうか。震災より1年経過した2012年より、3月11日を迎えるにあたり、被災地のひとつである宮城県塩竈市の、休業中のひらま写真館(写真家・平間至の実家)で、写真は人にとって何なのかを考えるイベントを行っています。

時とともに震災の記憶が薄れ行く中、今いちど、写真を通して、過去と向き合うこと、未来をつくりだすことに思いを巡らせる機会にしたいと思います。